

テーマ

## 物語

お話の世界にふれることで、言葉のイメージが広がり、“見たもの・聞いたものをまねしてみたい”という気持ちが育ちます。登場する動物や動きをまねしたり、好きな場面をくり返したりする中で、表現する楽しさや、友だちと一緒に楽しむ気持ちが自然に育つ時間です。

### 音の楽しさが物語へつながる

太鼓遊びを重ねる中で、子どもたちは音の響きやリズムに興味を持ち、自分なりに叩き方を変えたり、強弱をつけたりしながら楽しむ姿が見られるようになりました。  
“音が出るっておもしろい”“もっとやってみたい”という気持ちが、活動のたびに大きくなっていくのを感じていました。そこで、子どもたちの興味をさらに広げられるように、太鼓が登場する絵本『ピカゴロウ』をすくわくの時間に用意しました。  
絵本を開くと、子どもたちはすぐに物語の世界に引き込まれ、ページをめくるたびに「ピカゴロウだ！」「ドンドンしてる！」と目を輝かせていました。



### 太鼓の音から生まれたごっこ遊び

自分がピカゴロウになったかのように、力強く叩いたり、そっと音を出したりと、絵本の場面を思い出しながら表現する姿が広がっていきました。太鼓を叩く動きも、ただの“音を出す”から、“ピカゴロウみたいにやってみたい”という目的を持った表現へと変化していきました。



### 振り返り

太鼓遊びを楽しむ中で、子どもたちは音の響きやリズムに興味を持ち、自分なりに叩き方を工夫する姿が見られました。その姿から、太鼓が登場する絵本『ピカゴロウ』を取り入れると、物語の世界にすぐに引き込まれ、読み終わる頃には“ピカゴロウになりきって”太鼓を叩く姿が広がりました。絵本と実際の遊びがつながることで、表現の幅が広がり、ただ音を出すだけでなく「こうしてみたい」という思いを持って取り組む姿が増えました。興味が物語へと発展し、想像力と表現する楽しさが深まった活動となりました。



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん